



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03-3971-4144
 ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org
 ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)
 00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)
 広報局専用 E-mail：skikyo_koho@yahoo.co.jp

No.416

発行
2019.5.1

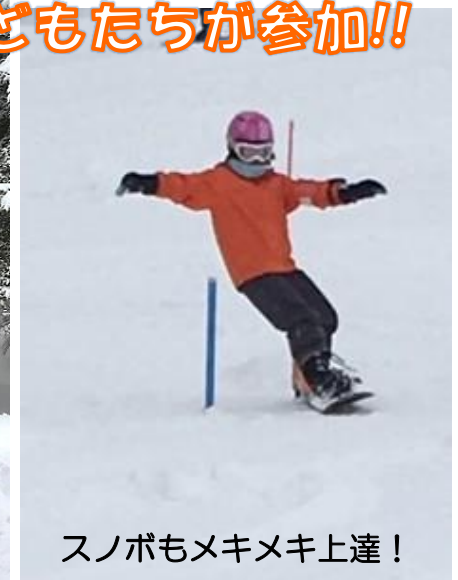
発行責任者
出崎福男

3月の新雪に恵まれ… 乗鞍岳山スキー教室



第35回春休みスキースノボ教室

6クラブ合同行事、たくさんの子どもたちが参加!!




スノボもメキメキ上達!

目次

リレーエッセイ「雪紋」／報告教育技術局から (指導員検定会報告ほか)	2頁
第35回春休みスキースノボ教室報告	3頁
乗鞍岳山スキー教室	4-5頁
第5回理事会報告／5・6月のカレンダー	6頁

“組織の魅力” 実感した一年

リレーエッセイ 

東京スキー協 常任理事 高橋 豊明

昨年定期総会は、会員の減少、クラブの退会、財政問題、と重要な課題を抱えた中での総会でした。そこで提起されたのは、“行事の魅力、仲間の魅力、組織の魅力を語って、魅力あるスキー協を作ろう”でした。

その後の取り組みは、これらが結果として実践されたように思います。8月、夏の雪だるま高原での全国サマーセミナー、前後して行われた新教程の発表とDVDの普及、9月のスキーセミナーと50周年記念レセプション、10月の平和駅伝&交流バーベキュー、12月のテクニカルフェスタ、年が明けて2月の東京競技大会、そして3月の全国スキー協50周年ウィーク、

どの取り組みも多くの会員、スキー愛好者を引き付け、楽しませ、励ましました。

財政問題もまた、緒についたばかりではありませんが、再建に向けて一定の方向付けがなされてきました。もちろん、それぞれの取り組みの担当者の努力があつてのことですが、そのことも含めて、行事の魅力、仲間の魅力、組織の魅力、この50年間に培われてきたスキー協の魅力を実感することができた一年でした。

第52回総会が近づいてきました。今回の総会も、この一年間の取り組みの成果をバネに、“魅力あるスキー協づくり”をさらに進めていく、意思統一の場にしていけたらと思います。

—— 教育技術局より ——

2019 関東ブロック初級・中級指導員検定会 2019/3/16-17

3月16、17日志賀一の瀬で指導員検定会が行われました。受験者は7名、東京から初級3名（一昨年の一部合格者1名含む）、中級2名、千葉から初級2名（昨年の一部合格者1名含む）です。受験者全体としては、2月の北海道、関東ブロックの検定会で4名が一部合格を得ていますが、当検定会での合格者はありませんでした。なお、レポートを含むペーパーテストでは受験者全員が合格となり、教程技術、応用技術でも一部合格がありました。

【速報】村本博司さん（シュプールSC）、関西ブロックで中級指導員に合格

4月6日、7日の関西ブロック検定会で、村本博司さんが中級指導員に合格されました。次号で合格のコメントを掲載いたします。4月18日木曜日、東京スキー協事務所にて19時から「合格を祝う会」を行いました。なお、千葉スキー協の佐々木睦昭さんも、この関西ブロックの検定会で中級指導員に合格されました。

東京スキー協技術部ファイナルキャンプ 2019/3/30-31 田代スキー場

3月30日、31日、技術部ファイナルキャンプに講師を含め8人が参加しました。今シーズン改訂教程での指導の現場で、難しいところをどう伝えるか、その効果はどうだったかや、各部員が感じたことなどを雪上で確認しながら教程について再整理をしました。

雪上では、1日目は緩斜面で、股関節の運動をしっかりと使った低速プルークのバリエーションを、2日目は、夜間の積雪でコンディションも整い、洗練の平行ルターの要領で実践的な滑りも加えて行いました。1日目の後半、緩み切って足を取られるような悪雪だったため、スキー場のスクールが撤収した後のコブ斜面に移動して、コブを楽しみながらよい応用レッスンの機会になりました。

ショートポールに雪中宝探し、指導員の研修もしっかりと！

第35回春休みスキースノボ教室 2019/3/28 木～31 日

今回の春休みスキースノボ教室は、3月28日（木）夜から31日（日）に志賀高原一の瀬をベースに行われ、総勢52人が参加しました。多摩地区の友好兄弟6クラブ（プレアデス、モルゲンローテ、町田シャスネージュ、雪舞、風花、ストックいらす）合同行事として行われてきたものです。

3日間を通して、天候と雪に恵まれ、広い志賀高原をたっぷり滑ることができました。大人クラスは初級・中級・上級・のんびり・フリーと各班に分かれ、全てに指導員がついて丁寧なレッスンと滑走ができました。

スノボの生徒は小学生1人でしたが、川田指導員の適切な指導でメキメキと腕を上げ（脚を上げ？）見事な滑走ができていました。子どものスキーは初心者にはマンツーマンで指導員が付き、最終日のぴったしカンカン・雪中宝探しにも参加できるようになりました。子ども初級・中級クラスは、1日目は奥志賀で、2日目は一の瀬から焼額へとロングコースを滑りまわりました。「焼額のゴンドラに乗りたい！」という子ども達からの強い要望に応えたものです。

夜の大会では、NHKから「チョコちゃん」が特別にやってきてくれて、「ねえねえ、大山～！この中で一番・・・なのはだあれ？」と質問をかけ、トンチンカンな答えに「ボーッと生きてん

じゃねーよ！」と鋭い突っ込みが入り、会場を大いに盛り上げてくれました。

飛び入り参加の大人フリークラスは『花』（♪春のうららの隅田川～）の2部合唱を披露、アンコールまでちゃんと計算して用意していました。

最終日のぴったしカンカンでは、今回初めて「ネトロン」ポールでセットしました。ぶつかっても、痛くない、網目状のポールです。子ども達は果敢にアタックしてくれました。帰りのバスの出発前に、ホテルロビーで結果発表があり、1位から3位に賞品が授与されました。

今回は、新教程が発表されて初めてのシーズン。夜の指導員の集まりでは、多くの参加者も参加してスキー技術の論議に花が咲きました。特に切り替え時で体軸を前に押し出してスキーをフォールラインに向けて先落としする、足裏切り換えと連動した腰のシーソー運動による外傾姿勢の確保などなど。議論百出でした。最終日には、短時間でしたが「指導員研修」を行い、「プルークボーゲン」と「初歩のパラレルターンI」を滑走し、互いに評価し合いました。

この行事のよさは、他のクラブのスキー仲間との交流ができ、色々な指導員の教えを体験できるなど自分のスキー技術を磨くとてもよい機会ではないかと思えます。（小柳光雄）



初参加2名、リピート参加2名、着実になかまをふやして

乗鞍岳山スキー入門教室

2019/3/16 土 ~ 17 日

菱沼 正義 (S.C. こなゆき)

参加者は昨年のリピーターのHさんとIさん、初参加のAさんとOさん、それにスキー協の先輩矢口さん、教室担当の関谷、菱沼の合計7名でした。

16日(土) 朝 晴れ時々曇り

美鈴荘にて朝食後スキー場へ。リフトでカモシカリフト終点(標高1970m)に頃到着。準備体操後ビーコンチェックを行い、9時40分、シール登行を開始しました。最初の急斜面は傾斜を緩和するためにジグザグに登り、キックターンも慎重に練習しました。その上部の切り通しの登行では、天候がいまひとつのため、前穂高などの素晴らしい景色を見ることができず残念でした。途中で雪崩の危険性を調べるための弱層テストを実際に行い、参加者に参考になったようです。

位ヶ原下にて昼食休憩し、12時頃に位ヶ原(標高2430m)に7名全員で到着。ここで足並みを考慮して2班に分れました。健脚組(4名)はトイレ棟の先の肩ノ小屋手前付近(標高2730m)まで登り、ノートラック斜面の滑降を楽しみました。最近の乗鞍岳山スキー教室でのシール登行では、初めての高度までではないかと思えます。

普通組(3名)は、位ヶ原からの滑降とし、深雪、日陰の新雪、陽当りのもなか雪、登高による踏み跡の硬雪など、変化する雪面に手こずりながらも慎重に滑降し、カモシカリフト脇の休憩所に到着しました。その後、肩の小屋手前まで登った健脚組が滑降を終えて合流し、リフト券売場に15時30分に到着、初日の日程を無事終了しました。

夕食後 資料を基に、読図、気象などについての質疑応答を含むミーティングを1時間程行いました。GPS、スマホなど最近のデジタル機器のナビゲーションソフトなどについても説明、便利なアイテムの知識も役立つように思います。気象については、参考例として、過去の高校生那須岳遭難事故時の天気図などについて検証し意見交換しました。また両膝の人工関節手術後に再び山ス

キーに挑戦している83歳の矢口さんの話を聞き、我々のこれからの大変参考になりました。強い精神力に脱帽しました。

17日(日) 天気は曇り時々雪

昨日と同じカモシカリフト終点から9時40分に出発。練習のため、クトー(スキー用アイゼン)を装着してのシール登行を行いました。11時に標高2330m地点で登行を止めて滑降に移りました。早朝の降雪で新雪斜面もあり、前日より楽しみながら滑降することができました。12時にカモシカリフト脇休憩所に到着、昼食休憩をとり、ゲレンデを滑走、12時50分に美鈴荘に戻りました。

宿でのミーティング後、14時に解散となりました。2日間の乗鞍岳山スキー入門教室を無事に終了することができました。参加者の感想を紹介します。

.....

Aさん 乗鞍岳ではお世話になり、ありがとうございました。盛りだくさんの2日間でした。1日目は快晴の中を2730mまで登り最上部のモナカ雪、中間の荒らされた悪雪と変化する雪の中を降りてきました。2日目は雪模様で気温が下がったので前日と同じ場所をクトーを着けて登りました。短い距離でしたが、うっすらと新雪が積もる斜面を快適に滑りました。

夜はスキーツアーの事前準備としてジオグラフィカを利用したルート図の作成方法や、天気図で天候をより正確に予想できることを学びました。また、膝の手術を乗り越えてスキーを続けられている大先輩や遠方より参加された方ともご一緒になり、みなさんの熱意にもおおいに刺激を受けました。また機会がありましたら、参加させていただきたいと思います。

Oさん 今回初めて乗鞍山スキーに参加しました。夏山としては2度ほど乗鞍岳の山頂に登ったことがあります。スキー場を含めて雪山は初め

てでした。カモシカリフトの終点からシールを着けて登り始め、途中雪崩の弱層テストの体験ができたことがよい経験になりました。森林限界を超えるとノートラックの冬山登山が味わえていかにも山スキーでした。稜線に立てなかったのがちょっと残念でした。

2日目は雪が降るなか同じルートでしたが練習のためクトーを着けて登り始めました。アイスバーンや硬い雪だけでなく柔らかい雪でもクトーを着けていると、かなり急斜面でも直登できることが実感できました。他にも色々学ぶことが多く有意義な山スキー教室でした。ご指導ありがとうございました。

Iさん 1日目、晴れていて時々雪が舞う。雪がやわらかく、シールで歩くのも比較的やりやすかったです。そのため、思いのほか高度を上げることができました。他のメンバーの方々のお蔭でもあります。滑走時、右ターンは風でバックされ固く、左ターンはままだもなかというシチュエーショ

ンがありとても興味深かった。1日目夜、気象、地形についてレクチャー頂く。気象については知らないことが本当に多いのですが頂いた資料を基にせめてスマホアプリを確認することから始めようと思いました。GPS対応のアプリの機能の差（YAMAP、ジオグラフィカ）を教えていただいたのもよかったです。2日目、クトーをつけての練習ができたのはよかったです。

Hさん 去年に続き今年も京都から、乗鞍山スキー教室に参加させて頂きました。まだまだシールを付けた登高になれなくて急登では後ろに滑ったり足が疲れたりでみなさんの足を引っ張りました。でも、雪の上をスキーを滑らして登るのは大変面白く2日目はクトーを使った登高も練習できました。もう春になり雪も消えたので、関西では、山スキーはできませんが、もっとスキーを履いて雪山を歩き回りたいですね。講師の方や、参加されたみなさんありがとうございました。



会議の報告

第5回理事会 2019.3.28(木)

池袋スキー協事務所 (34人中18人)

事務局 村本博司

<会議の主な内容>

1. 財政健全化に向けて

危機感を煽るだけではなく、これまでの取り組みで改善したことを明確に出してほしい。赤字行事は黒字化しつつあり、全体として行事の黒字額は増えているのではないか。

2. 東京競技大会について

3月の常任理事会で提案された、千葉スキー協との「共催」を模索する件について、運動論の立場からの将来展望や、実施状況について議論があった。これまでの状況からみると、千葉

スキー協からの参加見込みは5名前後(最大でも10名程度)であり、「協賛」が適切。「共催」から「協賛」に変更する。また、関東ブロックでの「共催」を目指すことは、今後、千葉スキー協、神奈川スキー協との十分な話し合いが必要。

3. 東京スキー協創立50周年記念誌作成について、一般会計と切り離し、会員からのカンパをもとに作成し、会員全員に配布する方向で検討する。

4. 3月16日に豊洲文化センターで開催されたスポーツ連盟の都連盟総会に代議員として常任理事の高橋豊明さんが参加した。出崎福男さんが理事に選出された。

5. 第6回理事会の開催予定

5月9日(木) 19:30~21:30
豊島区東池袋第四区民集会

かぐらスプリングフリーレッスン

全日本スキー技術選手権大会、3回の優勝! あの吉岡大輔さんの滑りが間近で見られる!

ニノックススキースクール校長。気さくで楽しい人柄。ファンも多い。

日時: 2019年5月11日(土)~12日(日)

場所: かぐらゲレンデ 講師: 吉岡大輔さん

http://www.tokyoskikyo.org/iinkai/gijutsu/image/2019_kagura.pdf

申し込み締め切り 4月22日

FAXのかたは 4/19までをお願いします

5・6月のカレンダー

5月	行事名	6月	行事名
5/3-5(金-日)	鳥海山スキー(催行人数を満たさず中止)	6/4(火)	山スキー委員会
5/3-6(金-月)	八甲田山スキー	6/8-9(土-日)	全国代表者会議
5/9(木)	理事会⑥	6/16(日)	第52回定期総会
5/11-12(土-日)	かぐらスプリングフリーレッスン		
〃	富士山大滑降		
5/14(火)	山スキー委員会		
5/16(木)	常任理事会		
5/18(土)	関東ブロック技術部会		
5/20(月)	全国常任理事会		
5/21(火)	組織局会議		
5/24-26(金-日)	立山・剣沢山スキー		
5/25(土)	指導員ミーティング		
5/28(火)	通信発行/総務局会議		

編集後記 エビノシippo

「一生に1度だ。」の標語で、アジア初開催の“ラグビーワールドカップ日本大会”まであと4ヶ月半。「スポーツによって人を育てる」ために誕生したラグビーの魅力は、品位、情熱、結束、規律、尊重に裏付けられています。これをゲーム中に実践するのはキャプテンに率いられた選手たち。全員で話し合い、仲間を信じ、規律を守り、相手を尊重し、誠実に行動する。スキー協もこうしていきたいと……。 (T. I)